



静岡県地方版
第369号
2022-9-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの
運動の基本

安倍「国葬」に反対し強く抗議する

県本部理事 下山 一美

安倍元首相の葬儀は7月12日に家族葬としてすで行われた。その後、著名な政治家や企業経営者等なら偲ぶ会も行われよう。しかし、「国葬」となるとまったくの別問題だ。根拠法もなく実施された1967年の吉田茂の国葬は論外として、戦後総理大臣の国葬は一度もない。今回の安倍氏の「国葬」は、自公政権の閣議決定で勝手に決められてしまった。安倍氏の8年8か月の首相在任中の非民主主義的悪行は数えればきりがないが、アメリカ言いなりの姿勢や税金を湯水のごとく使ってばらまいた外交は海外では評価された。しかし、国内での評判はすこぶる悪い安倍氏の国葬については、国民の反発は日に日に強まっている。世論調査では、毎日新聞で反対53%、賛成30%、FNNで反対51・1%、賛成40・8%、ANNで反対51%、賛成34%と、各社とも反対が多数だ

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

(いずれも8月の調査)。この背景には、安倍氏が旧統一協会と深く関わり、自民党の多くの議員が長年に渡って旧統一協会と相互依存の関係をもってきたことにあることは間違いない。また、国葬の経費が、政府がいう2・5億円にとどまらず、数十億円の税金が使われるであろうことや、コロナ禍で葬儀の規模を抑え、家族葬で済ます家庭が増加しているなかで、国民への丁寧な説明もなく大々的な葬儀を行うことへの反発もあろう。「内心」の自由は憲法で保障されている。私は、自公政権が主観的な評価への共感を求める目的で儀式をやるのは、個人の自由との観点で非常に問題があると思う。国葬を吊問外交の場にするなどとする、火事場泥棒的な見解があるが、各国代表を集めた国際会議を開催したほうがずっと効果的だ。

軍事費の増強をすすめ、戦争法をつくり、平和憲法破壊に血道を上げ、カルト集団である旧統一協会を蔓延させ依存してきた安倍氏の国葬には反対し強く抗議する。

(伊豆支部事務局長 しもやま かずみ)

第九回県本部理事会を開催

9月13日、静岡労働政会館において理事の10人の参加のもとに第9回県本部理事会を開催しました。

最初に江川佐一会長が開会あいさつ。沖縄知事選での玉城デニー再選を喜ぶとともに、反社会的な旧統一協会の広告塔で選挙応援の司令塔だった安倍元首相の調査もせず「国葬」を強行することを批判、「東海ブロック交流集会につづく第39回県本部大会成功のためにがんばっていきましょう」と訴えがされました。続いて山田巖副会長が情勢報告を行いました。

情勢報告では、はじめに沖縄県知事選について、初めて辺野古新基地建設推進を謳った政権総がかりの相手陣営を大差で破って玉城知事の再選を果たした戦いの重要性を語りました。つづいて安倍元首相の「国葬」問題、自民党をはじめとした政治家と統一協会の関係、物価高騰対策、国際情勢、県内情勢についてふれました。

「国葬」問題では、実施の法的根拠がないこと、民主主義に反し憲法違反であること、民主主義を壊してきた安倍元首相に国費を使うのはおかしい、国民多数の「反対」の世論を無視し強行することは許せない、などの点について語りました。また、統一協会との関係では、第2次岸田改造内閣のうち7人が統一協会や関連団体との接点があることが明らかになっており、政権与党の自民党と統一協会の癒着は底なしの様相を示

しています。自民党が徹底的に調査して半世紀にわたる関係の解明が重要になっていることを強調しました。

活動のまとめと当面の活動方針、県本部大会にむけての準備課題については早崎末浩事務局長が報告。いまとりくみが強められている「わが青春つぎる」とも」の上映会のとりくみと、この中で国賠同盟の活動を知らせ会員拡大に結びつけていくことの必要性にふれました。8月度の会員拡大では統一行動などで3名の拡大がりましたが、亡くなられた方や退会者もあり現勢を維持することに止まっています。県本部大会を控え、500人会員を実現していくためには、すべての支部のとりくみにするとともに目的意識的な活動が重要であることが強調されました。

各地で「わが青春つぎる」とも」の上映会

4月の島田市での上映会につづいて今、第2次の上映運動が始まっています。今後の予定は次の通り。

- 9/17 午後2時：袋井南コミュニティセンター中央ホール ●9/19 午前10時と午後1時半の2回 三島市民文化会館小ホール ●11/11 午後6時半：藤枝市生涯学習センターホール ●11/18 午後と夜の2回：浜北文化センター小ホール

私と国賠同盟

岳南支部 渡辺 佳正

安倍元首相の襲撃事件以降、統一協会とその関連団体が自民党政治に奥深く浸透してきたことが国民の目に晒されています。半世紀以上に渡って反社会的カルト団体が多くの被害を生んできたことは明らかであり、被害者支援と同宗教法人への解散命令を急ぐ必要があります。自民党は「次の国政選挙までに、国民は忘れるだろう」と高をくくって、第三者機関や国会調査委員会などによる調査を頑なに拒んでいます。しかし、この問題が森友・加計問題や桜を見る会などと違ふところは、実際に多くの被害者がいて、被害の実態を証言していることです。自民党の「知らぬ存ぜぬ」は通用しません。新型コロナウイルス禍で2年半以上に渡って「政治的に密」な運動を控えざるを得ない状況でしたが、「国葬反対」運動を皮切りに、国民置き去り・無為無策の自民党政治を国民大運動で追い詰めることが我々に課された使命だと考えます。

これまで、オウム真理教、日蓮正宗（大石寺）と創価学会の軌轢など大小さまざまな宗教関連問題を実体験してきた富士宮市民として、大いに頑張りたいと思います。

（富士宮市議会議員・わたなべ よしまさ）

● 11/19 午前10時、午後2時、6時半の3回 清水・ハートピア6階ホール ● 11/20 午前1回、午後2回の3回…浜松市地域情報センター

東海プロック交流集会は10/6、7で開催

3年ぶりの開催は、静岡県が担当県。伊豆のホテルサンパレー富士見で開催します。東海4県の活動交流と親睦をはかるため参加をすすめてみましょう。

第39回県本部大会は10/22に清水で

清水民商会館で午後1時半より開催します。大会議案は、10月号の「不屈」と一緒に会員の皆さんにお届けします。

安倍「国葬」中止の要請書を官邸に送付

第9回県本部理事会の名で首相官邸に安倍元首相の「国葬」中止を求める要請書を送りました。

8・15終戦記念日宣伝を各地で実施

8月15日に藤枝、島田、掛川の駅頭や沼津、磐田でハンドマイクや宣伝カードで宣伝。のべ19人が参加して国賠同盟が発行した終戦記念日ピラを配布するとともに、新聞折込みを含め7600枚を活用しました。

会員拡大と国会請願署名到達

2022・9・13現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	7月到達	増減	現在到達	夫婦会員	団体目標	7月到達	増分	現在到達	個人目標	7月到達	増分	現在到達
伊豆	27	21	-1	20	6	50	0	+1	1	350	0		0
沼駿	60	53		53	14	60	0	+4	4	800	0	+10	10
岳南	25	19		19	6	40	0	+1	1	350	0		0
清水	45	33	+1	34	8	60	0	+1	1	1,100	30		30
静岡	45	37		37	2	80	0		0	500	0		0
志太椋原	130	130	+1-1	130	34	50	2	+1	3	400	13	+10	23
中東遠	95	96	+1-1	96	12	50	0		0	400	0		0
西部	73	63		63	4	80	2		2	750	21	+15	36
県本部	-	-		-		30	1		1	350	0		0
合計	500	452	+3-3	452	86	500	5	+8	13	5,000	64	+35	99

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

「じやがいも」という 十勝の画廊に ハリキウの
稚児らの絵画(え) あまた飾らる

(ウクライナ都市 ハリキウ 複写画)

ハリキウの ジェーニヤちゃんらの
画にあふる 深き傷痕 明日への希望

世界から 幼らの叫び 聴こえ来る
未来奪うな 平和返して

人の世も オートファジーの中に生く
かけがえのない 平和をおもう

静岡 松浦美智世

編集後記

▼内閣改造も安倍「国葬」も、岸田首相の打つ手はことごとく裏目に出ている状況です。野党の国会召集を拒みつけているものの、自民党と統一協会との癒着ぶりが底知れず、10月3日にも召集が予定されている臨時国会では追及が必至。▼参院選を経て得た“黄金の3年間”も生かされようがないほど自民党支配の危機が進行しています。平和のためにも暮らしたのためにも政治の大転換が求められる情勢です。 S・H

